



院長 須藤 英仁

あけましておめでとうございます。皆様よいお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。さて昨年は医療界にとりましては大変な年でした。3・16%の医療費削減をはじめ療養病床の削減、リハビリ日数の限定など医療のサービス低下となるような政策が目白押しの状態でした。患者さんの負担の上昇もはや限界とも思える状況です。70歳以上の方の自己負担率アップ、老人施設や療養病棟での食費のアップなど枚挙にいとわれない状態です。リストラなどにより人件費の抑制をおこなってきた一部の大企業では史上空前の好決算とも聞きますが、医療の世界では人員の削減はそく患者サービスの低下につながります。当院でも医療費削減のなか10名以上の人員増をおこないサービスのアップにつなげるように努力しておりますがなかなか満足いただける状況になっていないのが現状と思います。そんな中、今年こそは、と思う事が二つあります。

① 職員教育

一つめは職員教育です。当院では入院患者さんにはすべてのかたにアンケート調査に協力頂いております。すなわち、医師の対応はどうか、看護師の対応に問題はどうか、食事はどうか、等々のよ

うな事でも書いて頂くようにアンケート用紙をお配りしております。最近はお褒めに預かることも多いのですが、まだまだ対応の悪さに耐えてお叱りを受けることもあります。この事を無駄にせず職員すべてにフィードバックしよりよい接遇を身につけさせたいと思っております。外来にもご意見箱がございまして多くの方のご意見を伺ってまいりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

② 新病院建設

二つめは新病院建設のことです。当院では開業いらい60年以上を経過しその間10数回にも及ぶ増改築を繰り返しておりましたがもはや限界と判断し全面的な移転を計画しております。建設予定地は安中駅から磯部にむかう途中で、新島学園より200m安中駅の方面に向った場所を計画しております。群馬県衛生関係当局、安中医師会の先生方のご理解により回復期リハビリ病床20床の増床も認めて頂き95床の病院となる予定です。今後30年の使用に耐える病院となりますように、設計をすすめております。どうぞ応援よろしくお願ひいたします。

職員教育と病院新築は非常に密接したものです。病院がいくら新しくなっても働く人たちが旧態依然のままではまったく意味をなしません。この2点をリンクさせて、始めて価値が出てくると思うので、患者さまをはじめ、すべての関係者の皆様に叱咤激励して頂くことをお願いし新年のご挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願ひ致します。

栄養サポートチーム (NST)

当院NSTでは、まず入院患者さまを対象に、今後は外来患者さまおよび在宅患者さまの適切な栄養管理を行っていきたいと思っております。

NSTってなに？

NSTとは日本語で言うと、「栄養サポートチーム」と訳され、低栄養などの栄養管理が必要な患者さまにチーム全体で知識や技術を出し合い、最良の方法で患者さまの栄養支援をすることです。



NSTは実際何をやるの？

須藤病院NSTは、医師・薬剤師・看護師・管理栄養士・言語聴覚士・臨床検査技師・放射線技師・理学療法士・事務などの他職種で活動していきます。

では具体的に何をやるかというところ、まず栄養不良（やせている、ご飯が食べら

れないなど）の患者さまを見つけ出し、その患者さまは現在どうして栄養不良なのか（どうして食べられないのか）？という栄養不良の原因を調べ、どんな栄養素が足りないのか？カロリーは足りているのか？ということから、それに合った食事・点滴や経管栄養を考え、治療を補っていくことを目的としていきます。

NSTの効果は？

NSTによる栄養介入によって、患者様が早く良くなり、早く退院でき、安心、安全な日常生活が送れるように努めていきたいと思っております。

また、院内での勉強会を開いたりNST研究会などへ出席し、NSTスタッフ一同常に進歩できるようがんばっていきます。



須藤病院では2007年1月より、「**栄養サポートチーム (NST: Nutrition Support Team)**」の活動を行っていきます。